

中期環境ビジョン「Green Policy 2020」の実現に向けて グローバルなグリーンICTプロジェクトで環境負荷を低減



富士通グループは、2020年に向けた中期環境ビジョン「Green Policy 2020」を実現し、低炭素で豊かな社会づくりに貢献するため、グリーンICTに関するテクノロジーや環境活動のノウハウを活かしてお客様や社会の環境負荷を低減するプロジェクト「Green Policy Innovation」をよりグローバルに強化していきます。

CO₂削減へ、グローバルで新たな目標を設定

温室効果ガスの排出量を全世界で削減するには、優れた環境技術を適用した製品やサービスを、先進国や途上国を含めてグローバルに、そして早期に普及させることが重要です。そこで富士通グループは、グリーンICTに関するテクノロジーや環境ノウハウを活かし、2009年度から2012年度までの4年間にグローバルで累計1,500万t以上のCO₂削減に貢献することを目指します。

グローバルな目標の達成へ一層の推進強化を

CO₂削減の新たな目標を達成するために、富士通グループは世界の各地域で培ってきたグリーンICTに関する強みに磨きをかけ、テクノロジーやノウハウの共有化を図ります。なかでも、先進グリーンテクノロジーを適用した省エネルギーなICTインフラや、環境配慮型データセンターによるアウトソーシングサービス、お客様の環境経営の高度化を支援する環境コンサルティングサービス等については、グローバルに推進を強化し、提供の拡大に取り組みます。

ICTインフラとICT活用の両面で環境負荷低減

サーバやストレージ等の省エネルギーでコンパクトなICT機器、仮想化技術により省電力運用を実現するミ

ドルウェア、エネルギー効率に優れたデータセンター等、お客様の環境負荷低減に貢献するICTインフラのご提供はもとより、産業、物流、業務といった様々な領域において運用の最適化・効率化で環境対策を支援するICTサービスやソリューションもご提供し、「ICTインフラの環境負荷低減」と「ICT活用による環境負荷低減」の両面からグリーンICTをグローバルに推進しています。

今後も富士通グループは自らの環境負荷低減に徹底して取り組み、そこで培った環境ノウハウやテクノロジーを活かしたグリーンICTのご提供を通して、お客様や社会全体の環境負荷の低減、ひいては地球環境への貢献を目指します。

■ グリーンICTにより、グローバルなCO₂排出量の削減に貢献



未来が変わる。日本が変える。

富士通グループはチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

FUJITSU JOURNAL
富士通ジャーナル

発行 富士通株式会社
マーケティング本部 eマーケティングセンター
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2
(夕留シティセンター)
印刷 富士通アプリコ株式会社

本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先
富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>



※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。
※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。
※本誌は、森林認証紙を使用しています。また、印刷インキは大豆インキを使用しています。
©富士通株式会社2010 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。
Copyright ©2010 by FUJITSU LIMITED